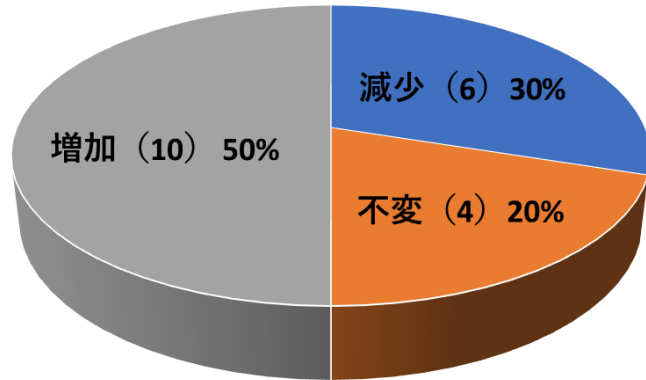


令和4年度景況調査

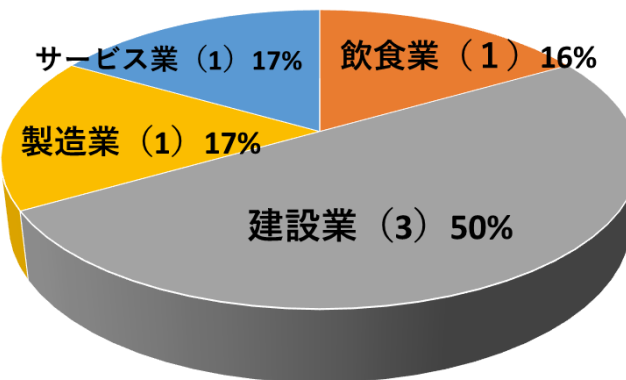
第三四半期（10月～12月）

①調査結果

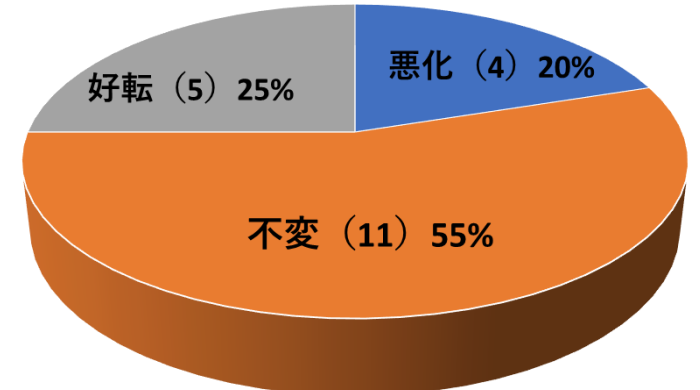
売上高の状況（前年比）



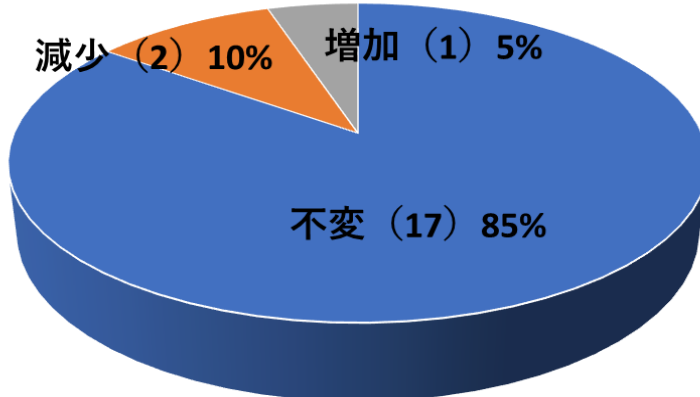
売上高減少企業の業種



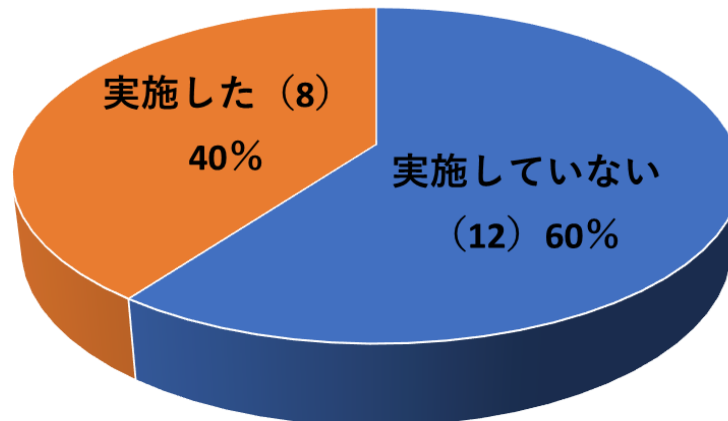
経常利益の状況



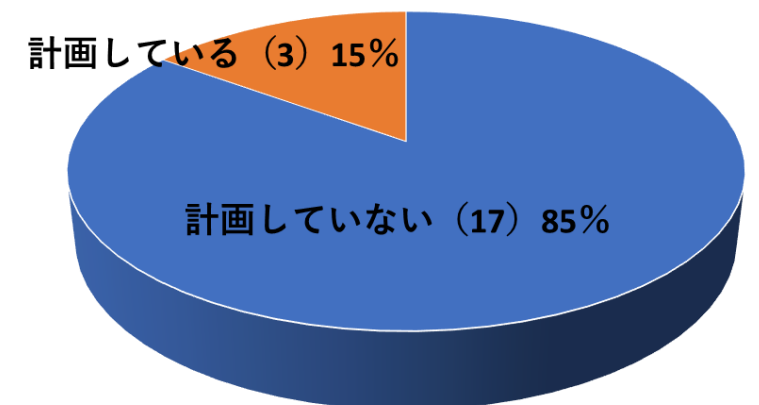
従業員数の状況



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（来期）



②分析結果

売上高については、20社のうち10社が前年同期と比較して増加しており、約3割が「減少した」と回答しています。業種ごとに見ると、売上が減少したと回答した6社のうち3社を建設業が占めており、次いで製造業、飲食業、サービス業が1社ずつ回答しています。経常利益については、半数以上の事業者が「不変」と回答しており、前回の調査時点からの大きな変化は見られませんでした。

設備投資については、全体の40%の事業者が今年の10月～12月期に設備投資を行ったと回答しています。一方で、来期（令和5年1月～3月）に「計画している」と回答した事業所は全体の15%にとどまり、前期に引き続いて現状維持の経営を行う傾向が強いことが窺えます。